

参考書『工学の歴史と技術の倫理』の訂正

【解説】本講義の参考書、村上陽一郎著『工学の歴史と技術の倫理』（岩波書店、2006年）にあるドイツの工科大学に関する記述にはいくつかの誤りが含まれているので、以下に訂正する。

* * *

55頁：（誤）1865年にカールスルーエのTHが、大学の構造と規約を持つことに成功し（ただし「工科大学」「Technische Universität”(TU)という呼称を許されたのは1885年のことである）

→（正）1865年にカールスルーエの総合技術学校が、大学の構造と規約を持つことに成功し（ただし「工科大学」「Technische Hochschule”(TH)という呼称を許されたのは1885年のことである）

55頁：（誤）1870年にはアーヘンで、最初から大学という資格の下で、新しくTH(TU)が建設されもした。

→ 削除。アーヘン校は当初TH(TU)ではなく、「総合技術学校」であって、大学の資格はなかった。THになったのは1879年。

56頁：（誤）ETHというのはスイスにおける州立工科高等専門学校のことで…

→（正）ETHというのはスイスにおける連邦工科高等専門学校〔または、連邦工科大学〕のことで…

58頁：（誤）ドイツ語圏のTHが第二次大戦後の改革によるものも含めて、すべてTUすなわち「大学」の名称を獲得したのに対して、スイスのETHだけは、今でも19世紀設立以来の「工科高等専門学校」の名称を変えていない。

→（正）今もTHの名称を変えていないのはスイスのETHだけ、というわけではない。例えば、THアーヘンの例がある（Rheinisch-Westfälische Technische Hochschule Aachen）。また、すべてTUの名称を得たわけではなく、その地にまだUniversitätがない場合は、TUではなくUniversitätの名称を得た場合もある（Universität Karlsruheなど）。